



人を想い、  
地球を想う。

# 第100期 年次報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで



三ツ星ベルト株式会社

# 前期に引き続き、過去最高益を更新。 環境の変化にぶれない持続的に成長できる強い会社をめざします。

株主のみなさまには、平素格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第100期の概況をお届けするにあたりまして、株主のみなさまのご懇情に心からお礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が尾を引きながらも、個人消費は底堅く推移し、設備投資は企業の業績改善を背景とした増加基調にあったこと、さらには為替の円安と原油安が進行したことなどから、全体としては緩やかな景気回復基調にあったと見られています。海外経済は、米国経済が堅調な景気回復過程にある一方、欧州はデフレ懸念とユーロ圏の政治不安に揺れ、資源国・新興国の景気は弱含みで推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループはアジア圏を中心とした成長市場における販売活動を強化するとともに生産体制の再構築を推進し、経営の効率化と一層のコスト削減に取り組んでまいりました。

今後の企業を取り巻く環境は、世界経済は、米国が安定的な景気回復基調にある一方、中国は景気の調整局面を迎え、欧州ではギリシャ債務問題の再燃や低インフレの長期化の懸念が依然として燻っています。また、資源国・新興国は、政治・経済情勢等が不安定で、世界経済にとってリスク要因と目されています。

国内では、昨春の消費税増税の影響によって個人消費の回復には一部弱さがあるものの底堅く推移し、設備投資も

企業業績の改善を背景として、緩やかに増加していくと見られます。また、為替の円安と原油安が進行したなどから、全体としては緩やかな景気回復基調を辿るとの観測が広がっていますが、今後の財政・金融政策や世界経済の動静によっては、景気回復のペースが鈍化する可能性があります。

当社グループでは、アジア諸国での人件費高騰やユーザの生産拠点の海外移管に伴う国内需要の減少による収益の圧迫が懸念されますが、これに対処するため、経営の効率化とコスト削減に取り組むとともに、技術力・開発力の向上と生産体制、販売体制の強化を積極的に進めてまいります。

株主のみなさまには、今後とも一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成27年6月



代表取締役会長

西河 紀男



代表取締役社長

垣内 一

## 連結業績概況

当連結会計年度の当社グループの業績は、売上高662億51百万円(前連結会計年度比4.0%増)、営業利益71億33百万円(前連結会計年度比16.5%増)、経常利益82億17百万円(前連結会計年度比12.5%増)、当期純利益は61億46百万円(前連結会計年度比30.2%増)となりました。

財政状態については、当連結会計年度末は、現金及び預金の増加等により流動資産が43億63百万円、有形固定資産が4億13百万円、株価の上昇に伴い投資その他の資産が27億24百万円とそれぞれ増加した結果、総資産は前連結会計年度末比74億97百万円増加の860億73百万円となりました。

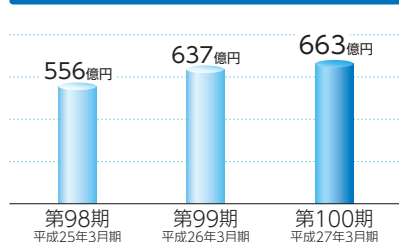
一方、負債は、借入金の減少を主な要因として流動負債が23億10百万円減少したこと等により、前連結会計年度末比21億95百万円減少の256億59百万円となりました。

純資産は、当期純利益の計上等により利益剰余金が50億48百万円、株価の上昇及び為替の影響等によりその他の包括利益累計額が46億51百万円とそれぞれ増加した結果、前連結会計年度末比96億93百万円増加の604億14百万円となりました。

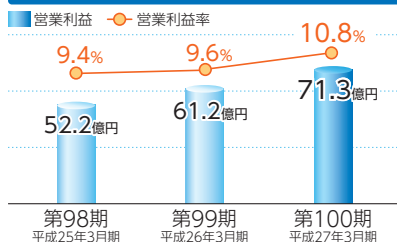
以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の64.6%から70.2%に上昇しました。



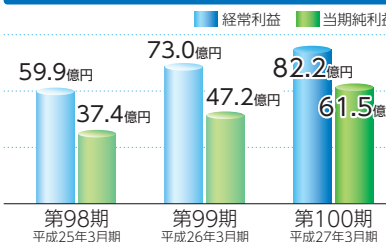
▶ 売上高



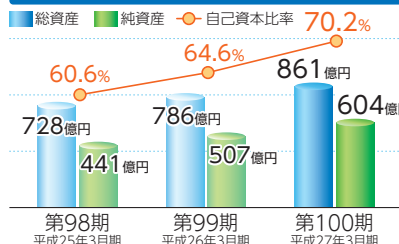
▶ 営業利益・営業利益率



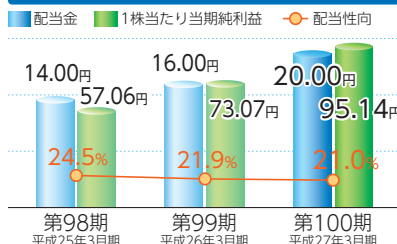
▶ 経常利益・当期純利益



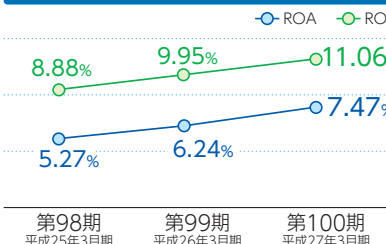
▶ 総資産・純資産・自己資本比率



▶ 配当金・1株当たり当期純利益・配当性向

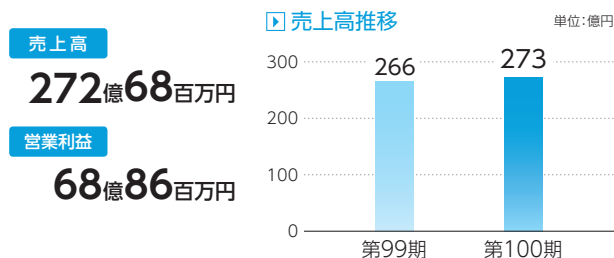


▶ ROA (総資産利益率)・ROE (自己資本利益率)



# 事業部門別状況

## 国内ベルト事業



自動車用ベルトは、新車組み込みライン用の売上高は前連結会計年度並みに推移しましたが、補修用ベルトは車検交換需要の減少やベルト非装着車種の影響もあり、売上高は減少しました。

一般産業用ベルトや合成樹脂素材は、企業の設備投資の回復に伴い増加しました。また、OA機器用ベルトは、為替の円安進行により一部ユーザに国内生産回帰の動きがあったことから増加しました。

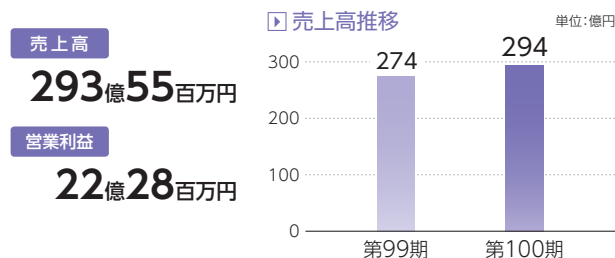
一方、運搬ベルトは前連結会計年度に比べ大型案件が少なかったことから、売上高は減少しました。

その結果、当事業の売上高は272億68百万円（前連結会計年度比2.6%増）、営業利益は68億86百万円（前連結会計年度比4.0%増）となりました。



プリンタなどの位置決め精度、印字精度を要求される用途で使用されるOA機器プリンタキャリッジ用ベルト

## 海外ベルト事業

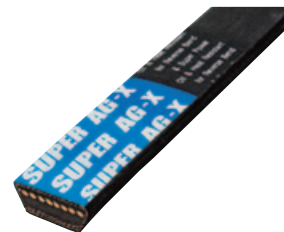


アジアでは、自動車用ベルトは新興国における補修市場の獲得に注力した結果、売上高が増加し、一般産業用ベルトも中国を中心に売上高が堅調に推移しました。また、OA機器用ベルトは日系ユーザの新機種への組み込み活動が奏功し、売上高が増加しました。

米国では、自動車用ベルトは補修用の落ち込みにより売上高が減少しましたが、為替の円安影響により邦貨では増加しました。また、一般産業用ベルトは積極的な拡販活動により、農業用を中心に新規需要を獲得したことから売上高が増加し、全体では増加しました。

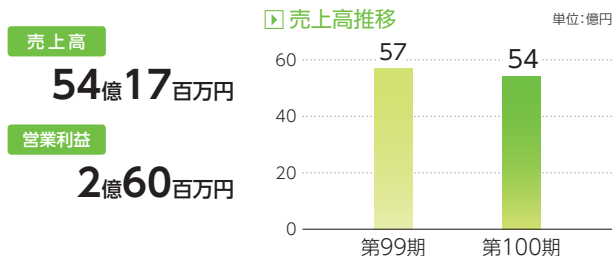
一方、欧州では、ユーロ圏の政治不安やロシア国通貨の下落の影響により、自動車用・一般産業用の売上高はいずれも減少しました。

その結果、当事業の売上高は293億55百万円（前連結会計年度比7.2%増）、営業利益は22億28百万円（前連結会計年度比49.4%増）となりました。



農業機械の大型化・長寿命化に対応するVベルト「スーパーAG-X」

## 建設資材事業



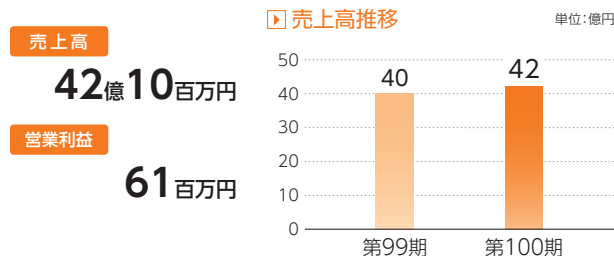
土木部門は廃棄物処分場関連の工事物件や、遮水シート  
の材料販売が好調に推移しましたが、建築部門では、前連  
結会計年度の消費税増税前の需要増加が大きかったことや、  
夏場の天候不順による改修工事物件の減少などから売上高  
が減少しました。

その結果、当事業の  
売上高は54億17百万  
円（前連結会計年度比  
5.4%減）、営業利益は  
2億60百万円（前連結  
会計年度比1.3%増）  
となりました。



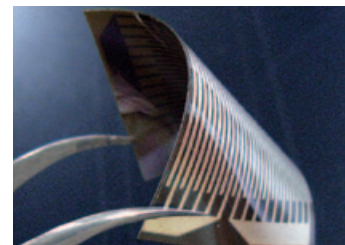
金属屋根をゴム系材料で覆い改修する  
「リプルーフ防水工法」

## その他



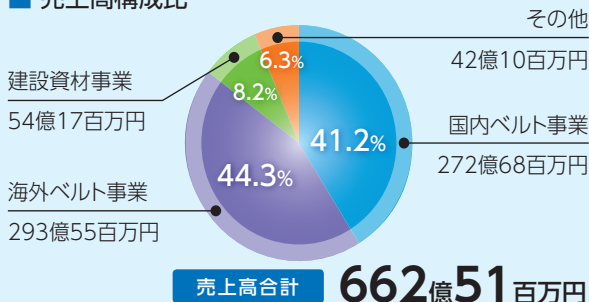
その他には、エンジニアリング ストラクチャル フォー  
ム、ナノ粒子を応用した新製品、仕入商品等が含まれてお  
ります。

その他の売上高は  
42億10百万円（前  
連結会計年度比5.2%  
増）、営業利益は61  
百万円（前連結会計  
年度比50.3%減）と  
なりました。

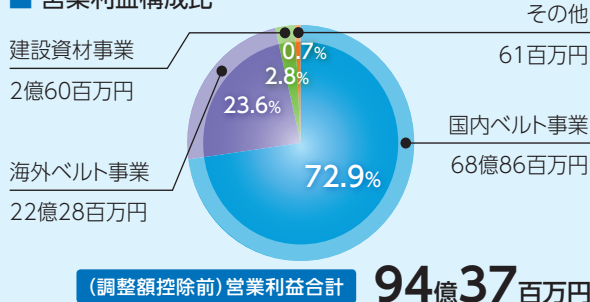


銀ナノ粒子の特徴を生かしモバイル電子  
機器の小型・軽量化に貢献する  
「MDotシリーズ」

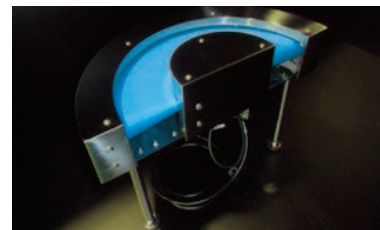
### 売上高構成比



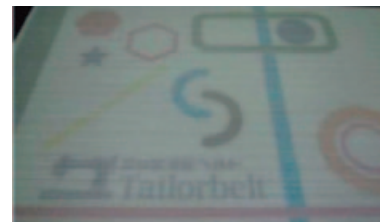
### 営業利益構成比



## FOOMA JAPAN 2015（国際食品工業展）に出展



樹脂ベルト「Tailorbelt®」シリーズに新たに「ラウンドコンベヤ」、「ポートフレックス」用ブルーベルトをラインナップ。食品製造工場のベルトコンベヤをブルーベルトで統一することが可能となります。



インクの露出やマーク剥がれの可能性がない「Premiumプリント・イン」。食品製造工場の異物混入リスクを低減することが可能となります。

当社は、平成27年6月9日～12日に東京ビッグサイトで開催されたFOOMA JAPAN 2015(国際食品工業展)に出展しました。

樹脂ベルト「Tailorbelt®」シリーズに新たにラインナップされた、ブルーベルト仕様の「ラウンドコンベヤ」および「ポートフレックス」、プリントが消えない「Premiumプリント・イン」ベルト他、食品製造工場の衛生管理の向上、異物混入リスクの低減に貢献する製品を紹介しました。

|                            |                |  |
|----------------------------|----------------|--|
| 樹脂コンベヤベルト<br>「Tailorbelt®」 | ハイブリッドシリコンベルト  | ベルト表面に離型性の高いハイブリッドシリコンを使用（参考出展）                      |
|                            | フッ素樹脂コーティングベルト | ベルト表面に耐熱性・離型性に優れたフッ素樹脂を採用                            |
|                            | ブルーベルト         | システム製品（ラウンドコンベヤ用・ポートフレックス用）に2品種追加。全13品種をラインナップ       |
| 樹脂コンベヤベルト<br>「Tailor加工」    | Premiumプリント・イン | パン生地などの離型性に優れた帆布仕様でPremiumプリント加工が可能。消えることがありません      |
|                            | Premiumファスナー   | ベルト端部を樹脂製のフックとピンにより接合                                |
|                            | PremiumBTR機    | 横棧溶着部に段差がない新工法。残滓が溜まらず衛生的                            |
| エンジニアリング<br>プラスチック         | クリンピーシリーズ      | 抗菌試験（JISZ2801）カビ抵抗性試験（JISZ2911）及び食品衛生法に適合した素材をラインナップ |
|                            | PIM適合素材        | 欧州のプラスチック指令（PIM）に適合する樹脂素材をラインナップ                     |

## 高い伝達能力を備え 様々な分野で使用される 「ギガトルクGX」

世界最高水準の高伝達能力を備えたゴム製タイミングベルトとして多くの産業用機械への採用が進んでおり、大型射出成型機や工作機械においては、その高い能力で機械寿命の向上やコンパクト化に貢献しています。

最近では過酷なレース用特殊車両へも採用され、ますますその用途は広がりを見せています。



ギガトルクGX

## 高負荷駆動に対応する 強度と耐久性を持つ 「スーパーAGコグシリーズ」

農業機械の大型化・長寿命化が進む昨今、これまで培ったノウハウを最大限に生かした製品として販売を開始した「スーパーAGコグシリーズ」。コンバインをはじめあらゆる農業機械への採用が進んでおり、農業機械の高性能化・高耐久性に貢献しています。



スーパーAGコグシリーズ

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

### Point 1 流動資産

流動資産は、現金及び預金が36億30百万円増加したことなどにより、前期末と比較して43億63百万円増加しました。

### Point 2 固定資産

固定資産は、新規設備投資に伴う有形固定資産が4億13百万円増加、株価上昇に伴い投資その他の資産が27億24百万円増加したため、前期末と比較して31億34百万円増加しました。

### Point 3 純資産

純資産は、当期純利益等の計上により利益剰余金が50億48百万円、株価の上昇及び為替が円安に推移した影響等によりその他の包括利益累計額が46億51百万円増加しました。以上の結果、自己資本比率は前期末と比較して5.6ポイント上昇して70.2%となりました。

| 科目                 | 前期<br>平成26年3月31日現在 | 当期<br>平成27年3月31日現在 |
|--------------------|--------------------|--------------------|
| <b>資産の部</b>        |                    |                    |
| <b>流動資産</b>        | <b>45,939</b>      | <b>50,302</b>      |
| 現金及び預金             | 15,326             | 18,956             |
| 受取手形及び売掛金          | 14,997             | 14,802             |
| その他                | 15,615             | 16,543             |
| <b>固定資産</b>        | <b>32,637</b>      | <b>35,771</b>      |
| 有形固定資産             | 21,120             | 21,533             |
| 無形固定資産             | 79                 | 77                 |
| 投資その他の資産           | 11,436             | 14,160             |
| <b>資産合計</b>        | <b>78,576</b>      | <b>86,073</b>      |
| <b>負債の部</b>        |                    |                    |
| <b>流動負債</b>        | <b>20,167</b>      | <b>17,857</b>      |
| <b>固定負債</b>        | <b>7,686</b>       | <b>7,802</b>       |
| <b>負債合計</b>        | <b>27,854</b>      | <b>25,659</b>      |
| <b>純資産の部</b>       |                    |                    |
| <b>株主資本</b>        | <b>45,925</b>      | <b>50,966</b>      |
| 資本金                | 8,150              | 8,150              |
| 資本剰余金              | 5,480              | 3,927              |
| 利益剰余金              | 35,708             | 40,756             |
| 自己株式               | △ 3,414            | △ 1,867            |
| <b>その他の包括利益累計額</b> | <b>4,796</b>       | <b>9,447</b>       |
| <b>純資産合計</b>       | <b>50,721</b>      | <b>60,414</b>      |
| <b>負債純資産合計</b>     | <b>78,576</b>      | <b>86,073</b>      |

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。



## 連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

| 科目             | 前期                          | 当期                          |
|----------------|-----------------------------|-----------------------------|
|                | 平成25年4月1日から<br>平成26年3月31日まで | 平成26年4月1日から<br>平成27年3月31日まで |
| 売上高            | 63,685                      | 66,251                      |
| 売上原価           | 44,852                      | 45,828                      |
| 販売費及び一般管理費     | 12,708                      | 13,289                      |
| 営業利益           | 6,124                       | 7,133                       |
| 営業外収益          | 1,561                       | 1,389                       |
| 営業外費用          | 383                         | 305                         |
| 経常利益           | 7,302                       | 8,217                       |
| 特別利益           | 224                         | 126                         |
| 特別損失           | 514                         | —                           |
| 税金等調整前当期純利益    | 7,012                       | 8,344                       |
| 法人税、住民税及び事業税   | 2,278                       | 2,428                       |
| 法人税等調整額        | 12                          | △ 230                       |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 4,721                       | 6,146                       |
| 当期純利益          | 4,721                       | 6,146                       |

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

| 科目                    | 前期                          | 当期                          |
|-----------------------|-----------------------------|-----------------------------|
|                       | 平成25年4月1日から<br>平成26年3月31日まで | 平成26年4月1日から<br>平成27年3月31日まで |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー      | 6,619                       | 9,285                       |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー      | △ 2,696                     | △ 2,183                     |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー      | △ 4,059                     | △ 4,860                     |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額      | 543                         | 998                         |
| 現金及び現金同等物の増加額         | 407                         | 3,238                       |
| 現金及び現金同等物の期首残高        | 14,317                      | 14,740                      |
| 決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 15                          | —                           |
| 現金及び現金同等物の期末残高        | 14,740                      | 17,979                      |

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。

## »Point 4 売上高

売上高は、前期と比較して25億66百万円増加し、662億51百万円となりました。前期と比較して4.0%増となり、5期連続増加しています。

## »Point 5 営業利益

営業利益は、前期と比較して10億9百万円増加の71億33百万円となりました。過去最高の営業利益となり、また、営業利益率は、10%以上を達成しております。

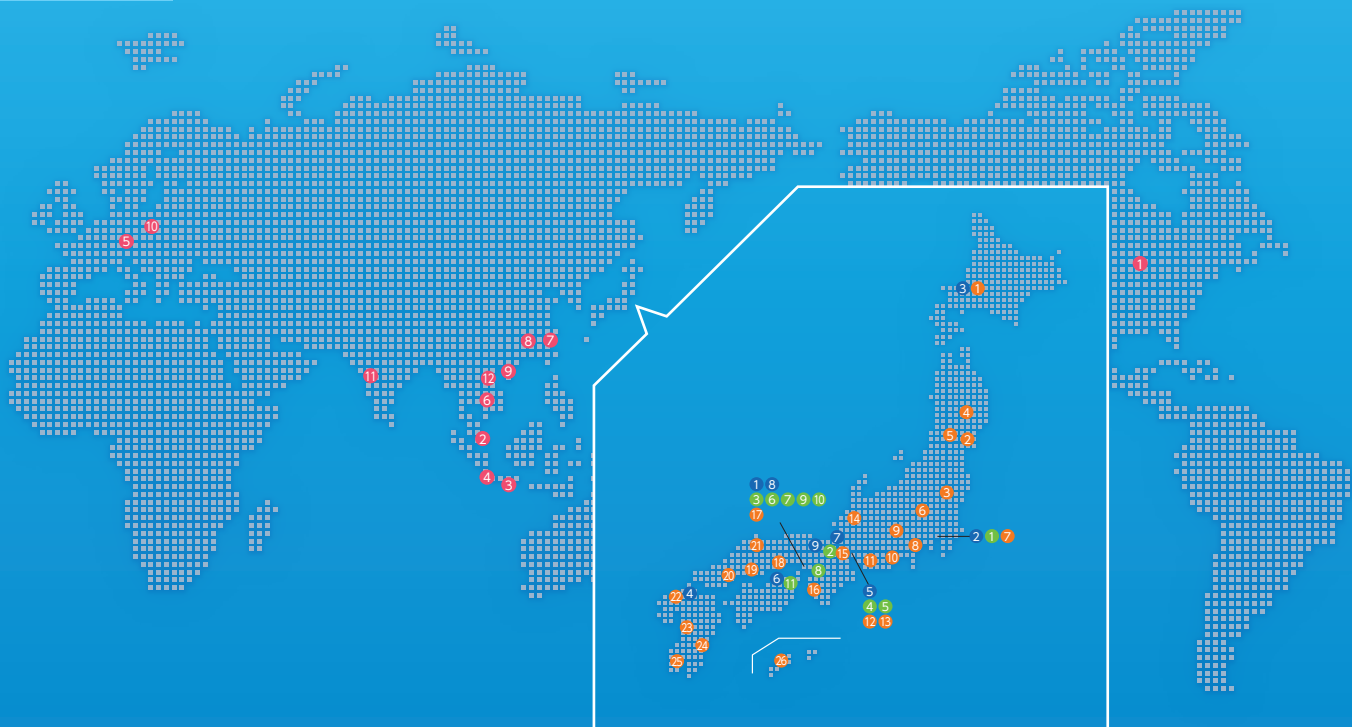
## »Point 6 当期純利益

当期純利益は、税金等調整前当期純利益が13億32百万円増加したことなどにより、前期と比較して14億25百万円増加の61億46百万円となりました。

## »Point 7 連結キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、前期と比較して26億66百万円増加の92億85百万円の収入となりました。主な要因は、前期と比較して税金等調整前当期純利益が13億32百万円増加したことに加え、売上債権が34億51百万円減少した反面、仕入債務が10億73百万円減少したこと等によるものです。

一方、財務活動によるキャッシュ・フローは、前期と比較して8億1百万円減少の48億60百万円の支出となりました。主な要因は、前期と比較して短期借入金11億17百万円減少した反面、長期借入金の返済による支出が4億3百万円減少したことによるものです。



国内の生産・販売拠点

三ツ星ベルト株式会社

- ① 神戸本社
- ② 東京本社
- ③ 札幌営業所
- ④ 福岡営業所
- ⑤ 名古屋工場
- ⑥ 四国工場
- ⑦ 滋賀工場
- ⑧ 神戸事業所
- ⑨ 綾部事業所

三ツ星ベルトグループ会社

- ① 三ツ星ベルト販賣(株)
- ② 三ツ星コード(株)
- ③ 三ツ星ベルト工機(株)
- ④ 三ツ星ベルトコンベヤ(株)
- ⑤ 三ツ星ベルト樹脂(株)
- ⑥ 三ツ星ベルト技研(株)
- ⑦ 三ツ星物流工産(株)
- ⑧ ネオ・ルーフィング(株)
- ⑨ 神戸三ツ星サービス(株)
- ⑩ エムエムコート(株)
- ⑪ エム・ビ・エル・総合サポート(株)

三ツ星ベルト販賣株式会社

- ① 札幌営業所
- ② 仙台営業所
- ③ 郡山営業所
- ④ 盛岡営業所
- ⑤ 山形営業所
- ⑥ 北関東営業所
- ⑦ 東京営業所
- ⑧ 神奈川営業所
- ⑨ 山梨営業所
- ⑩ 静岡営業所
- ⑪ 浜松営業所
- ⑫ 名古屋営業所
- ⑬ 小牧営業所
- ⑭ 金沢営業所
- ⑮ 粟東営業所
- ⑯ 和歌山営業所
- ⑰ 神戸営業所
- ⑱ 岡山営業所
- ⑲ 福山営業所
- ⑳ 広島営業所
- ㉑ 松江営業所
- ㉒ 福岡営業所
- ㉓ 熊本営業所
- ㉔ 宮崎営業所
- ㉕ 鹿児島営業所
- ㉖ 沖縄営業所

海外の生産・販売拠点

- ① MBL (USA) CORPORATION
- ② MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED
- ③ P.T. SEIWA INDONESIA
- ④ PT. Mitsuboshi Belting Indonesia
- ⑤ MBL Antriebstechnik Deutschland GmbH
- ⑥ Stars Technologies Industrial Limited
- ⑦ 上海共星機帶國際貿易有限公司
- ⑧ 蘇州三之星機帶科技有限公司
- ⑨ MOI TECH HONG KONG LIMITED
- ⑩ MITSUBOSHI POLAND Sp. z o.o.
- ⑪ MITSUBOSHI BELTING-INDIA PRIVATE LIMITED
- ⑫ Mitsuboshi Belting VIETNAM Co., Ltd.

## 株式の概況 (平成27年3月31日現在)

## 1. 株式

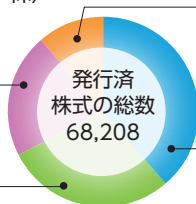
|          |              |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 325,213,000株 |
| 発行済株式の総数 | 68,208,397株  |
| 株主数      | 5,937名       |

|            |                        |
|------------|------------------------|
| 所有者別状況(千株) | 外国法人等 7,645<br>(11.2%) |
|------------|------------------------|

その他の法人  
14,545  
(21.3%)

金融機関・証券会社  
19,539  
(28.7%)

個人・その他  
26,479  
(38.8%)



(注) 個人・その他には自己株式3,605千株が含まれています。

## 会社の概要 (平成27年3月31日現在)

|      |                                       |
|------|---------------------------------------|
| 商号   | 三ツ星ベルト株式会社<br>Mitsuboshi Belting Ltd. |
| 創業   | 大正8年10月10日                            |
| 設立   | 昭和7年10月10日                            |
| 資本金  | 81億5,025万1,031円                       |
| 従業員数 | 707名                                  |
| 営業品目 |                                       |

|      |   |
|------|---|
| ベルト  | V型ベルト、歯付ベルト、伝動機器・装置、運搬ベルト及び装置、ポリウレタン製工業用品、合成樹脂素材、その他ベルト |
| 建設資材 | 建築用防水シート、土木用遮水シート                                       |
| その他  | エンジニアリング ストラクチャル フォーム、その他                               |

|     |       |   |
|-----|-------|---|
| 事業場 | 神戸本社  | 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号<br>☎(078)671-5071代表   |
|     | 東京本社  | 東京都中央区日本橋2丁目3番4号<br>☎(03)5202-2500代表    |
|     | 札幌営業所 | 札幌市豊平区豊平二条3丁目1番17号<br>☎(011)841-9135代表  |
|     | 福岡営業所 | 福岡市博多区板付1丁目3番1号<br>☎(092)441-4451代表     |
|     | 名古屋工場 | 愛知県小牧市大字西之島1818番地<br>☎(0568)72-4121代表   |
|     | 四国工場  | 香川県さぬき市津田町津田2893番地<br>☎(0879)42-3181代表  |
|     | 滋賀工場  | 滋賀県高島市マキノ町寺久保100番地2<br>☎(0740)27-0133代表 |
|     | 神戸事業所 | 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号<br>☎(078)671-5071代表   |
|     | 綾部事業所 | 京都府綾部市城山町7番1<br>☎(0773)43-3051代表        |

## 2. 大株主 (上位10名)

| 株主名                  | 持株数(株)    | 比率(%) |
|----------------------|-----------|-------|
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 | 5,581,000 | 8.18  |
| トヨタ自動車株式会社           | 2,355,125 | 3.45  |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行        | 2,340,550 | 3.43  |
| 星友持株会                | 2,121,870 | 3.11  |
| 小田欽造                 | 2,070,000 | 3.03  |
| 西松建設株式会社             | 2,000,000 | 2.93  |
| 三ツ星ベルト社員持株会          | 1,652,130 | 2.42  |
| 三井物産株式会社             | 1,500,000 | 2.20  |
| 東京海上日動火災保険株式会社       | 1,376,804 | 2.02  |
| 三菱UFJ信託銀行株式会社        | 1,372,164 | 2.01  |

(注) 上記のほか当社所有の自己株式3,605,998株があります。

## 役員 (平成27年4月1日現在)

|                    |       |        |      |
|--------------------|-------|--------|------|
| 代表取締役<br>会長        | 西河紀男  | 常務執行役員 | 黒野正治 |
| 取締役<br>副会長         | 喜田宏   | 常務執行役員 | 對川芳憲 |
| 代表取締役社長<br>兼社長執行役員 | 垣内一   | 常務執行役員 | 熊野格夫 |
| 取締役兼<br>常務執行役員     | 山口良雄  | 執行役員   | 竹中昌弘 |
| 取締役兼<br>常務執行役員     | 中嶋正仁  | 執行役員   | 羽村健  |
| 取締役兼<br>常務執行役員     | 小田芳裕  | 執行役員   | 佐々木孝 |
| 取締役兼<br>常務執行役員     | 片山孝   | 執行役員   | 増田健吉 |
|                    |       | 執行役員   | 西河俊伸 |
|                    |       | 執行役員   | 池田浩  |
|                    |       | 執行役員   | 陳振耀  |
| 監査役<br>(常勤)        | 井ノ口正弘 | 執行役員   | 伊藤辰雄 |
| 監査役                | 奥島吉雄  | 執行役員   | 森野峰雄 |
| 監査役                | 宇佐美貴史 | 執行役員   | 又場敬司 |
| 監査役                | 若林邦昌  |        |      |

(注) 監査役宇佐美貴史及び若林邦昌の両氏は、社外監査役であります。

会計監査人 新日本有限責任監査法人

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 単元株式数 1,000株
- 剰余金の配当の基準日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
- 上場金融商品取引所 東京
- 株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
電話(通話料無料)0120-094-777
- 公 告 方 法 電子公告により行う。  
公告掲載ホームページは、[http://www.mitsuboshi.co.jp/japan/denshi\\_koukoku/index.html](http://www.mitsuboshi.co.jp/japan/denshi_koukoku/index.html)に掲載しております。  
なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



当社ホームページでも、最新のIR情報をご案内しております。

[www.mitsuboshi.co.jp](http://www.mitsuboshi.co.jp)

UD FONT



この冊子の印刷には、環境に配慮した  
植物油インキを使用しています。